

1, 本校の学力向上にかかる課題（H26 全国学力・学習状況調査より）と改善された課題

- 国語科
 - ・国語A、Bともに全国平均を上回り、良好な状況である。
 - ・目的や意図に応じて資料を読み、作者の考えを理解し、自分の考えと比べ整理し伝えていく力に弱さがある。
- 算数科
 - ・算数A、Bともに全国平均を上回り、良好な状況である。
 - ・言葉や数、式、図などを用いて自分の考えを記述し、説明する力が弱い。
- 学習状況調査
 - ・家庭学習は習慣化しているが、予・復習を計画的に実施している児童が少ない。
 - ・算数への関心が低い傾向であるが、問題を最後まで解こうとする意欲は高い。
 - ・学力を支える基盤の学習状況や生活習慣は、良好な状況である。
- 改善された課題…国語科指導や読書活動を通じた、基礎基本の内容の習得。
 少人数指導により、算数科における思考力向上。

2, 本校の学力向上目標

- | | |
|----------------|------------|
| 1 学力向上のための授業改善 | 2 学びの習慣づくり |
| 3 読書活動の充実 | 4 学びの土台づくり |

① 学力向上のための授業改善 *自分の考えを持たせる授業改善

- 国語の指導…考えを導くためのペア・グループ活動の指導方法（辞書の活用・こども新聞の活用）
- 算数の指導…ノート指導を大切にした授業、考えを伝え合う授業、効果的な授業形態の工夫
- 指導法の工夫・改善…思考力・判断力・表現力の系統性を明らかにした授業研究
- 基礎基本の内容の習得…各教科の基礎基本を明らかにした指導法の確立
 各教科において「読む・書く・話す」を意識した授業

② 学びの習慣づくり

- 学習習慣の確立…学習規律の習得（思考・表現方法のスキルアップ）
- 言語活動の充実…詩や名文の朗読（かがやきタイム・国語科）、学習成果の掲示
- 家庭との連携による家庭学習…「予習・復習」の充実、「学年×10分」の家庭学習、「学びのすすめの活用…調べたり書いたり文章を書いたりする家庭学習」
- 発表・発信の場の設定…全校集会、朝・昼の校内放送の活用

③ 読書活動の充実

- 『忍法読書カード』の活用
- 「おすすめの本」の読破
- 読み聞かせ・図書ボランティア活動などによる読書活動の推進

④ 学びの土台づくり

- 児童に考えさせる場づくり
 - ・児童が進める縦割り活動 児童の発想を生かした委員会活動 児童が計画するクラブ活動 児童が進行する集会活動
- 認め合える学級風土づくりのためのソーシャルスキル教育等を実践。（自尊感情の高揚）
- 学力アップ補強（放課後教室 夏季休業中）

4, 学力向上の検証（評価および方法）

- | | | | |
|------------------------|--------------------------|----------------------|------------------|
| ■学校評価アンケート
(7, 12月) | ■学習状況・生活状況調査
(7, 12月) | ■全国学力・学習状況調査
(4月) | ■県算数学力調査
(2月) |
| ■授業研究 評価規準をもとにした指導と評価 | | | |

5, 学力向上策の検証

全国学力・学習状況調査などの結果を参考に検証
 「学力向上策の再策定」(H27年2月) H27年度に向けて

